

タイトル『君の名は。』

著者：新海誠

出版社：

僕が本の中に引き込まれるように  
見入った本はこの本が初めてだった。

この本は 瀧と三葉という二人の心と体が  
入れ替わってしまう話。その二人は始めは  
夢かと思っていたが現実に繋がっていることに気付く。  
しかし、電話やメールをしても通じない。

三葉が瀧の身体でデートに誘ったバイトの先輩であり、  
みんなの憧れの的である奥寺先輩。

デートの行く先を見ようと東京に出かけた三葉。  
そこで見つけた瀧の姿とは...?

また、瀧が三葉に会おうと自分のスケッチを  
手がかりに探すと三年前に隕石が落ちて最悪の  
被害があった糸守町に行きつく。隕石のもとである  
ティアラ彗星から発展していく。ファンタジーや恋愛を  
詰め込んだストーリー。文章自体も様々な素晴らしい  
表現や美しい情景描写が感じとれ、街と町の想像が  
綺麗に鮮明に想像できる。映画で見たらもっと綺麗に  
再現されているが、本でもあきさせない、読みたくなる期待以上の作品である。

投稿日 2016年 10月 1日

ペンネーム

鈴木 ワールド

年齢

15